

新潟県企業短期経済観測調査の概要

(業況感)

- **業況判断D.I.**は、「良い」超幅が小幅縮小した。  
—— 製造業は、「良い」超幅が小幅拡大した。非製造業は、「良い」超幅が縮小した。

▽主な業種別の変化要因

		業種	主な要因
製造業	改善	鉄鋼、輸送用機械、木材・木製品、窯業・土石製品、非鉄金属、はん用・生産用・業務用機械	設備投資関連受注が好調 自動車関連受注が好調
	悪化	電気機械、食料品、金属製品	スマホ関連受注の低迷 原材料価格上昇による利幅縮小
非製造業	改善	情報通信	広告収入の増加
	悪化	建設、卸売、運輸・郵便、宿泊・飲食サービス、鉱業・採石業・砂利採取業	公共工事受注の減少 原材料価格上昇による利幅縮小

- **先行き**については、今回調査並みの「良い」超となる見通しである。  
—— 製造業は、「良い」超幅が小幅縮小する見通し。非製造業は、今回調査並みの「良い」超となる見通し。

(事業計画)

- 2018年度の**売上高**は、前年を上回る計画、**経常利益**は、前年を下回る計画である。  
—— 経常利益は、製造業で、原材料価格上昇分の販売価格への転嫁や、IT関連受注の獲得などから、増益計画となっている。非製造業は、原材料価格上昇による利幅縮小などから、減益計画となっている。  
—— 経常利益を前回調査対比で見ると、製造業では、通商政策を巡る世界的な不透明感の高まりなどから、下方修正となった。非製造業では、原材料価格上昇による利幅縮小などから、下方修正となった。

- 2018年度の**設備投資**は、前年を上回る計画である。

—— 製造業は、受注好調に伴う能増投資や大規模な効率化投資などから、前年を上回る計画である。非製造業は、需要増加に対応するための各種施設の建設などから、前年を上回る計画である。

—— 前回調査対比で見ると、製造業では、大型の能増投資や効率化投資がみられたことなどから、上方修正となった。非製造業では、需要増加に対応するための各種施設の建設などから、上方修正となった。

- この間、2017年度の売上高、経常利益は前年を上回った一方、設備投資は前年を下回った。

(その他の判断項目)

- **販売価格判断D. I.**は、「上昇」超幅が小幅拡大した。**仕入価格判断D. I.**は、「上昇」超幅が小幅拡大した。
- **雇用人員判断D. I.**は、「不足」超幅が小幅縮小した。
- **資金繰り判断D. I.**は、前回調査並みの「楽である」超となった。**貸出態度判断D. I.**は、前回調査並みの「緩い」超となった。**借入金利水準判断D. I.**は、「低下」超幅が拡大した。

以 上